

G★U★M★B★O

ロボット系の報告(記者:日浦洸太)

こんにちは。ロボット系の日浦です。

前期から、ロボットと関連設備の担当に任命されました。この方面を、クリエイティブ・システムのビジネスの新しい柱として、確立することが目的です。私にとっても、新しい分野であるため、苦労を重ねてきましたが、おかげさまで、今期はロボット係としてB工番で2テーマを進めることができました。この社内報が出る頃には、N社向けのテーマは終わっていて、K社向けのテーマは最後の山場に入っているはずです。K社は、自動車関連以外のお客様であることも、将来が楽しみです。

今までとは異なって、今回の両テーマは、実機によるティーチングの前に、シミュレーションによる動きの検証を行いました。おかげで、両テーマとも、最初から迷うことなくポイント取りできました。通常は、このポイントの選定、設定に時間が掛かります。最終的には、実機による微調整が必要ですが、ティーチング前に動きをイメージできるというのはやはり大事な、と思った次第です。特に、K社向けのファナックロボットで、特異点*を事前にある程度回避できたのは、新たに導入したシミュレーションソフト「ROBOGUIDE」のおかげです。(なお、最初の姿勢からハンド取付姿勢にするまでに、特異点近傍の警告が出て、なかなか苦労しました)

これからは、パソコンとロボットの連携がより進みます。これまで以上に、触りやすい、扱いやすい、親しみやすいものになると、ロボットの導入が、さらに進んでいくのかな、と思います。今回のように、ソフトウェアによる仮想空間において、事前に、ロボットの動作の検証や動作範囲の確認、作業を行えるかどうかを確認できるようになりました。実機の作動に入ってからリスクを、ある程度軽減できます。また、プログラムを事前に作っておけば、「ロボットが納入されたら、(完全でないにしても)すぐに動かせる」という時間的なメリットを得られます。

最近では、ロボットに関する問い合わせや引き合いが増えています。技術の向上のために、色々なロボットメーカーのセミナーにも、積極的に参加しています。また、浜松市が主催する、ロボット・インテグレーターにも認定され、当社が掲載される冊子も、もうじき届きます。このように、ロボットに関するビジネスチャンスは、大きく広がりつつあるように感じます。

これらのツールを駆使して、ロボット係が、クリエイティブ・システムのビジネスの一つに育つように、頑張っていきます。皆様のご協力をお願いいたします。

*特異点(とくいてん)とは、ある基準(regulation)の下で、その基準が適用できない(singular)点です。ロボットの場合は、構造により、制御できなくなる点(姿勢)を差します。



新入社員挨拶(記者:鈴木琢満)

1月20日に入社しました鈴木琢満(たくま)です。簡単にですが自己紹介をさせていただきます。大学卒業後、某食用油メーカーの千葉工場の工務課という部署で工場設備の保全や、設備投資の計画や施工管理等に携わっていました。しかし浜松に戻りたいという思いが強くなり退職し、ついた職が住宅塗装店でした。塗装店では現場作業だけでなく営業や事務も経験することができ、やりがいは感じていましたが、製造業への未練が大きくなり転職を決意、今に至ります。

私は思いつきで動くことが多く、基本的に無計画でやりながら考えるタイプです。そのため失敗がとても多いです。未経験の職種で知らないこと、わからない事が多々ありますが、これからご指導のほどよろしくお願いいたします！

新年会(記者:吉野)

2019年、最初の会社行事は新年会となりました。今回は、なんと私が入社して初めて!?の新年会となりました。舞台は、THE HAMANAKO (旧 浜名湖ロイヤルホテル)に決定！〒431-0101 静岡県浜松市西区雄踏町山崎4369-1が住所になります。JR 東海道線 舞阪駅北口より無料送迎バスにも乗れてしまいます。客室からは浜名湖を一望でき、リラクゼーションルームもあり、自家源泉を持つ露天・屋内温泉もあり、地元野菜をふんだんに取り入れたお食事はとても満足のいくクオリティであります。

今回、幹事として大変ご苦労されました、大山係長・桑原さんには感謝しかありません。ただ、現在流行り中のインフルエンザによって数名の欠席があった事は残念でしたが、とても楽しい新年会でありました。ありがとうございました。

次回は、創立記念パーティーです。またどんな所で皆様との交流ができるのかワクワクしながら、今ある仕事に励んでいきたいと思えます。

今回は杉浦さんのあみだくじにより組立課 吉野が書かせて頂きました。



気になったこと(記者:杉浦)

春を感じる今日この頃、皆様如何お過ごしでしょうか？ これって花粉症？ 鼻詰まりを感じる編集長です。今更気になっております「5G」。少し前から米中経済戦争での話題のキーワードですが、「モバイルネットワーク第五世代技術」の意味で「G」は Generation を指します。(1G:アナログ携帯電話、2G:デジタル化、3G:国際基準、4G 高速化)5Gは単純に、4Gより通信速度が〇〇速い!! だけではなく、新技術による次世代社会を支える役割を担って設計されています。4k,8k 放送、自動運転技術なども5Gのネットワークでの実現を見込んでおります。5Gによる高速大容量、低遅延、低コスト、省電力、多接続で IoT(色々なものがインターネットに繋がること)急速に進むと予測されています。

付いて行けないな〜と、書きながら感じてしまいました^^; それでは皆様ごきげんよ〜^^/シ

